

ときわミュージアム植物シンポジウム&陽っ水ミニコンサートの開催について

山口大学と宇部市間で締結された「緑と花と彫刻の博物館」を活用した連携・協力事業に関する協定書に基づき、ときわ公園の活性化を進めるイベントとして、去る2月28日に宇部市ときわミュージアムにおいて、「ときわミュージアム植物シンポジウム&陽っ水ミニコンサート」が開催されました。

第1部のシンポジウムには、約50名の参加者が集い、丸本山口大学長及び藤田宇部市長の開会のあいさつの後、磯田教授（筑波大学大学院生命環境研究科）による「サボテンの機能性成分」、伊藤教授（山口大学農学部）による「多肉植物からの抗菌物質の探索」、荊木准教授（山口大学農学部）による「植物組織培養の新たな展開」と題して講演が行われた。講演後は、多肉植物の機能性成分と組織培養の新たな展開に関して質疑応答が活発に行われました。

また第2部として、井上陽水サウンドを心から愛するコピーシンガー「陽っ水（ようっすい）」によるミニコンサートを開催しました。独特の艶のある歌声とギター演奏で披露された12曲に、会場を埋め尽くした多くの人たちの心は癒されました。この「陽っ水」とは、山口大学総合企画部に所属する前原義久 国際・社会連携チームリーダーでした。

今後ますます、宇部市と山口大学が連携を図り、大学がもつ様々な学術的資源、学生を含めた人的資源を活用し、ときわミュージアムの活性化、強いては地域の活性化につなげていくことが期待されています。同ミュージアム内にある山口大学環境サテライトオフィスも活用しながら、地域と共に「共育」を育み、地域の活性化に貢献していきます。

（総合企画部国際・社会連携チーム）



○植物シンポジウムで挨拶をする丸本学長



○陽水サウンドを熱唱する陽っ水（左）とサポートの中西政美さん（右）